

オンラインタウンミーティング事前アンケート実施結果

○実施概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンラインでタウンミーティングを開催することとし、開催案内を送付するとともに、事前アンケートを実施した。

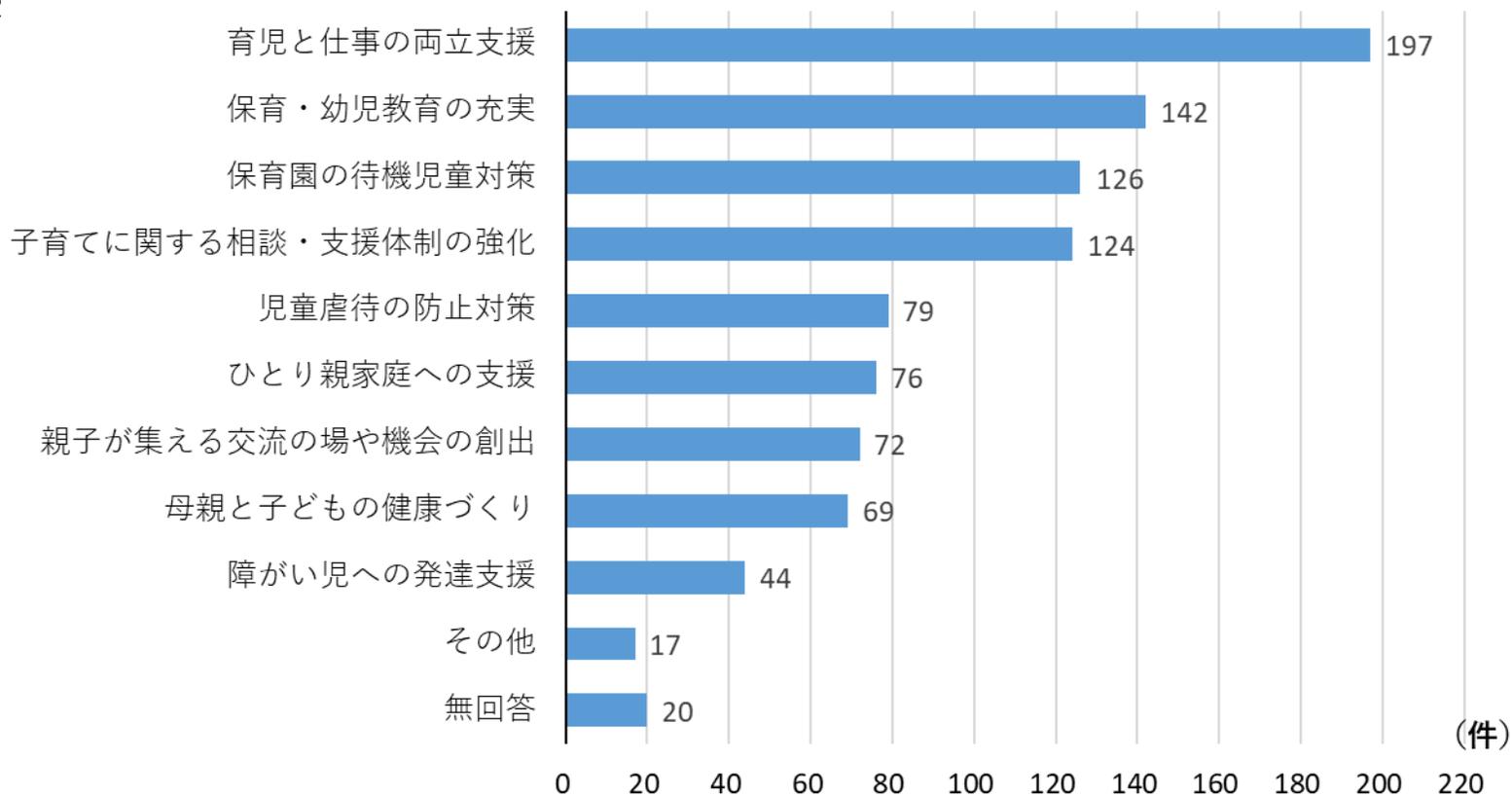
実施期間	2020年6月11日～2020年6月26日
実施方法	紙面郵送 オンラインアンケート(LoGoフォーム)
対象者	無作為抽出で選出された、18歳～75歳の3000人の市民
回答者	322人(6月30日到着分までを集計に含む)
回収率	10.7%

★ 胎児期・幼年期(概ね0歳～5歳)

町田市は、子どもが安らげる家庭づくりを支援することや家庭・地域の教育力を高めることで、子どもを産み育てたいと思っている方々の希望を叶えるとともに、子育て世代から選ばれるまちになりたいと考えています。

Q1 こうしたまちになるために、特に効果的だと思う取組はどれだと思いますか。(3つ選択)

n=322

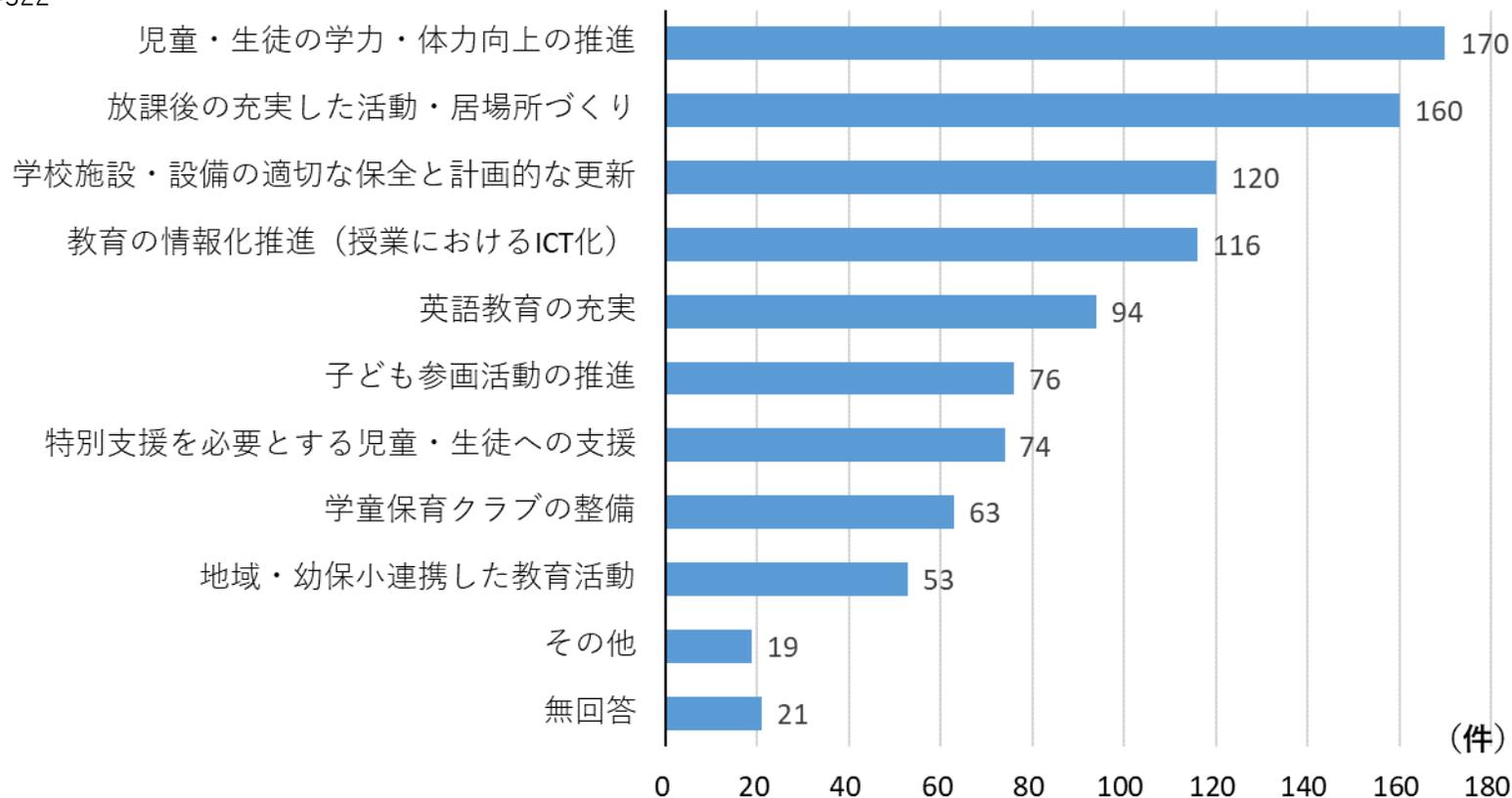


★ 少年期(概ね6歳～18歳)

町田市は、教育環境の充実を図り、子どもたちの学ぶ意欲や様々な可能性のある能力を伸ばすとともに、まちづくりに参画する機会を増やすことで、子どもたちが自分の未来について自ら考え、生きる力を育てられるまちになりたいと考えています。

Q2 こうしたまちになるために、特に効果的だと思う取組はどれだと思いますか。(3つ選択)

n=322

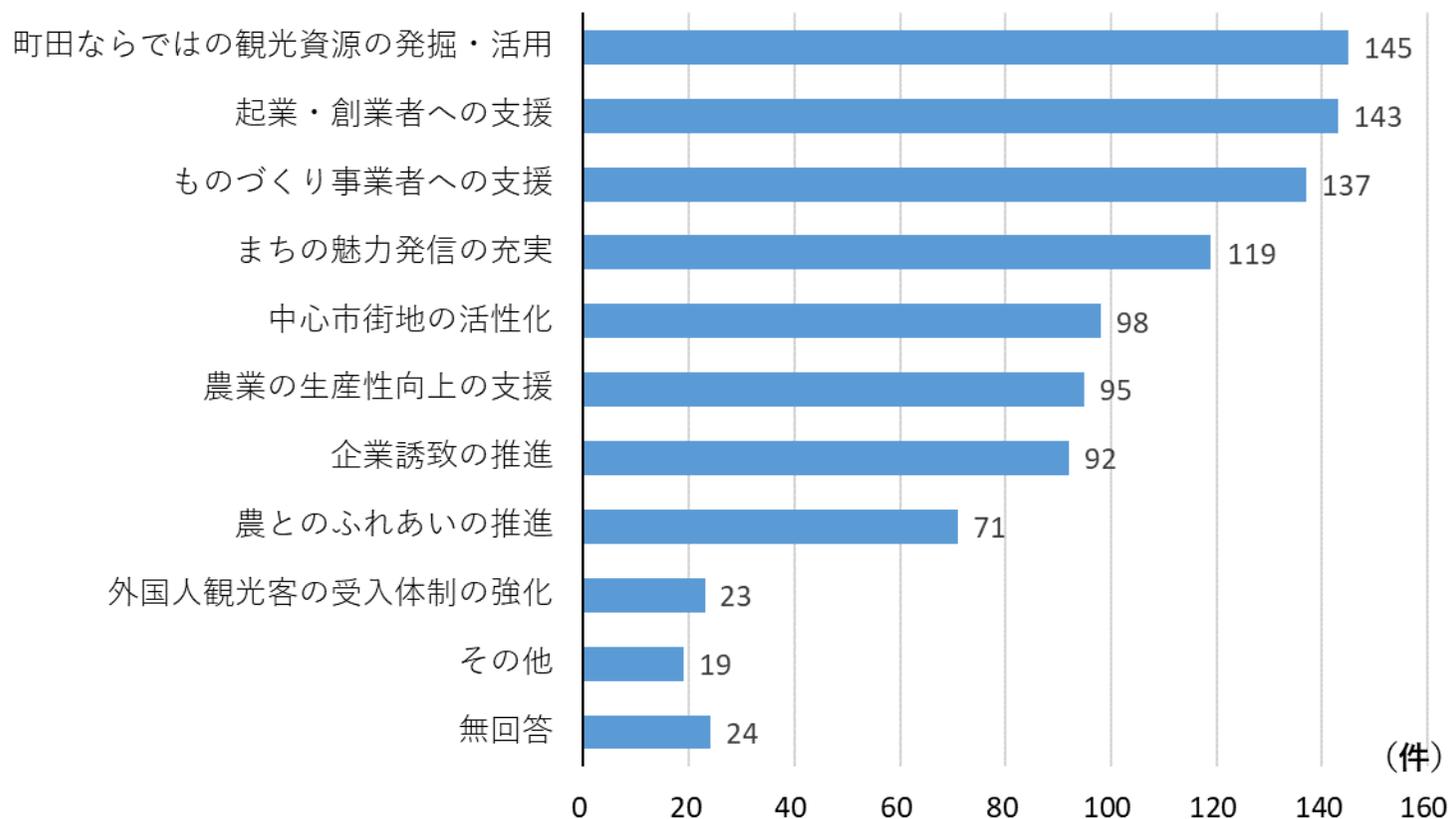


★ 青壮年期(概ね19歳～44歳)

町田市は、多様な働き方や創業を支援するなどして働きやすい環境やチャレンジしやすい環境をつくることに取り組むとともに、まちの魅力を高め、発信していくことで、みなさんが市内に好きな場所を持て、好きな時間を過ごせるようなまちになりたいと考えています。

Q3 こうしたまちになるために、特に効果的だと思う取組はどれだと思いますか。(3つ選択)

n=322

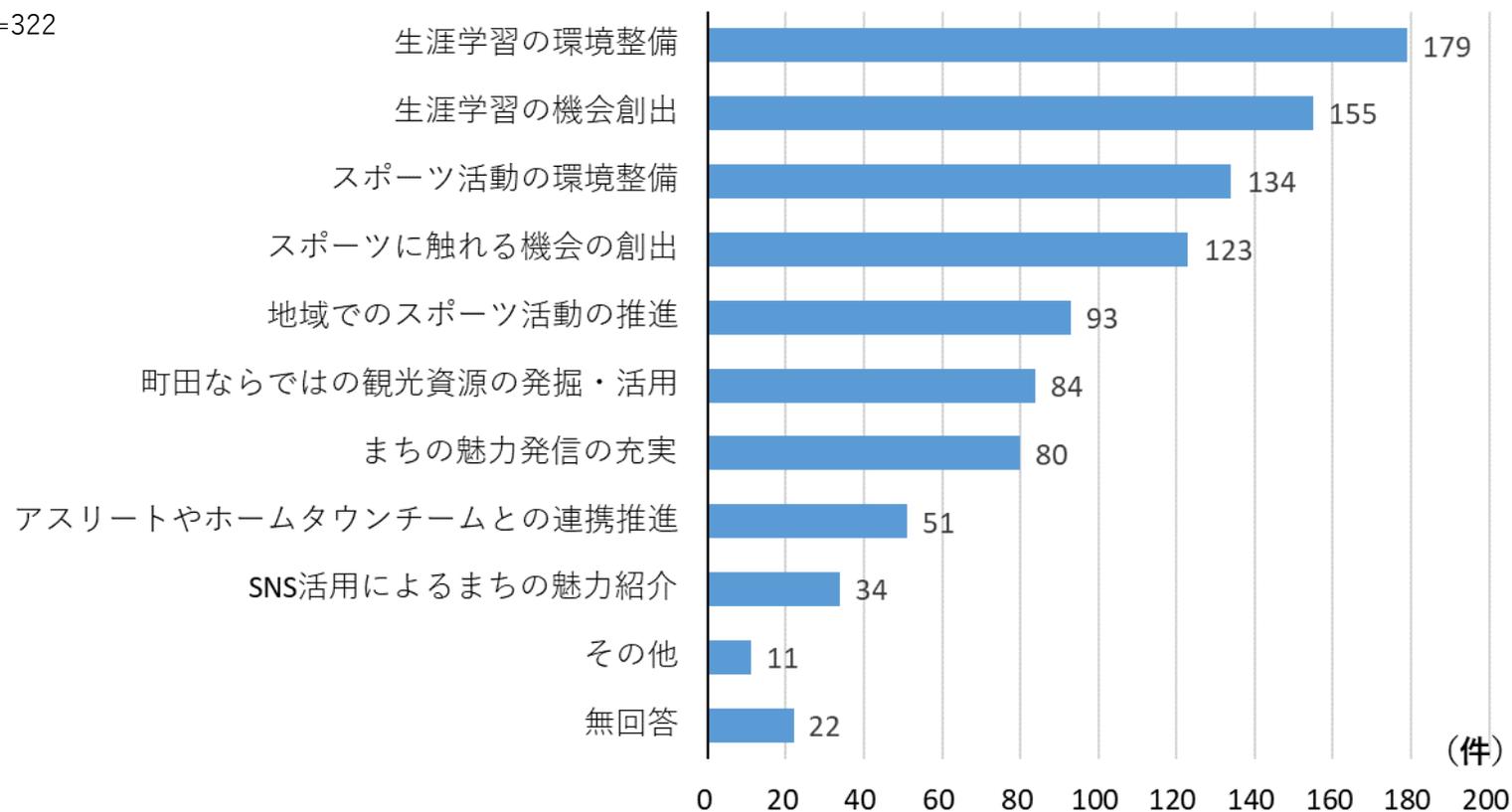


★ 中年期(概ね45歳～64歳)

町田市は、生涯にわたる学習を支援することやスポーツに親しめる環境をつくっていくこと、そのようなまちの魅力を高め、発信していくことで、いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになりたいと考えています。

Q4 こうしたまちになるために、特に効果的だと思う取組はどれだと思いますか。(3つ選択)

n=322

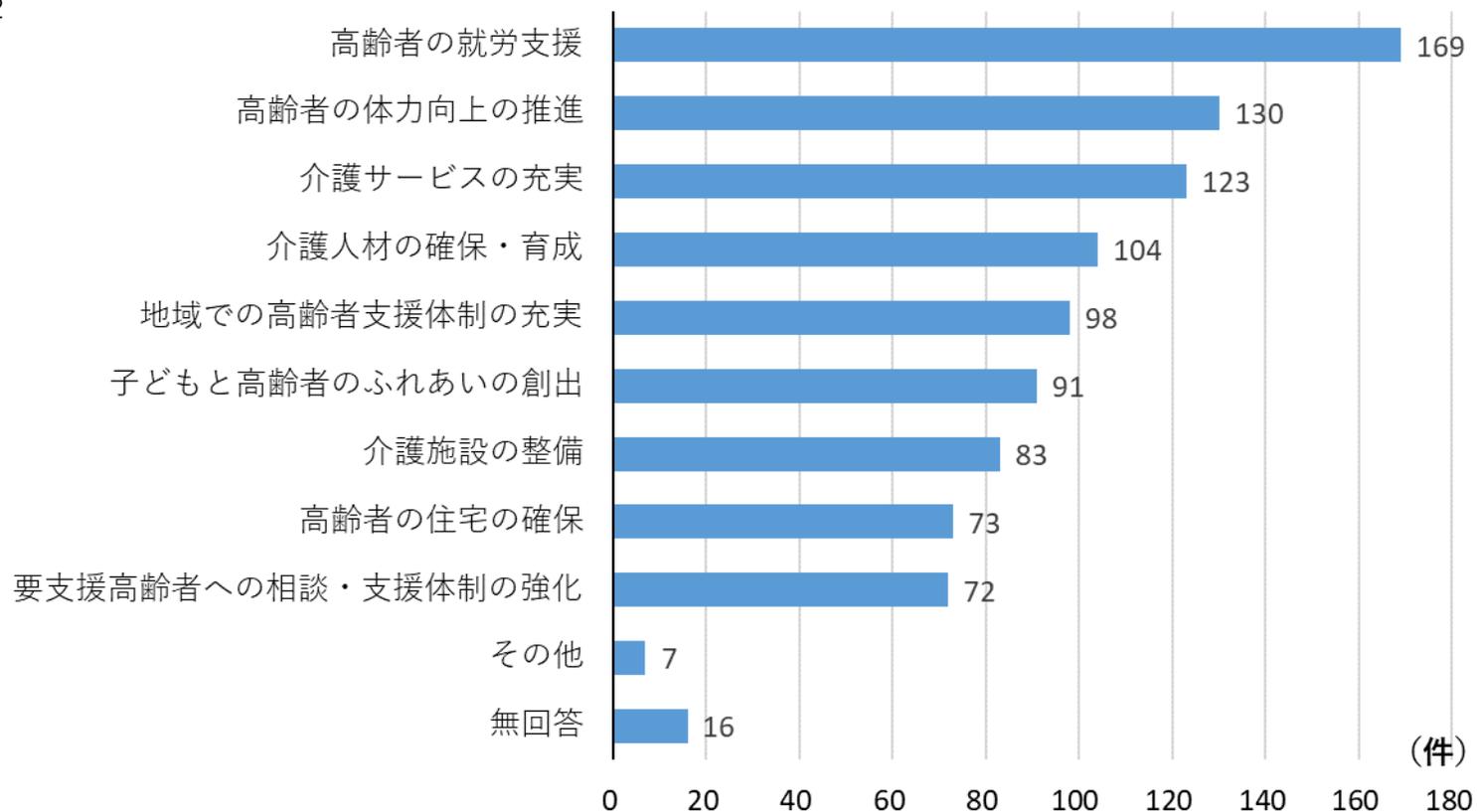


★ 高年期(概ね65歳以上)

町田市は、みなさんにいつまでもいきいきと過ごしていただくとともに、地域で活躍できる環境を整えるなどして、誰かのために自分の力を活かせるまちになりたいと考えています。

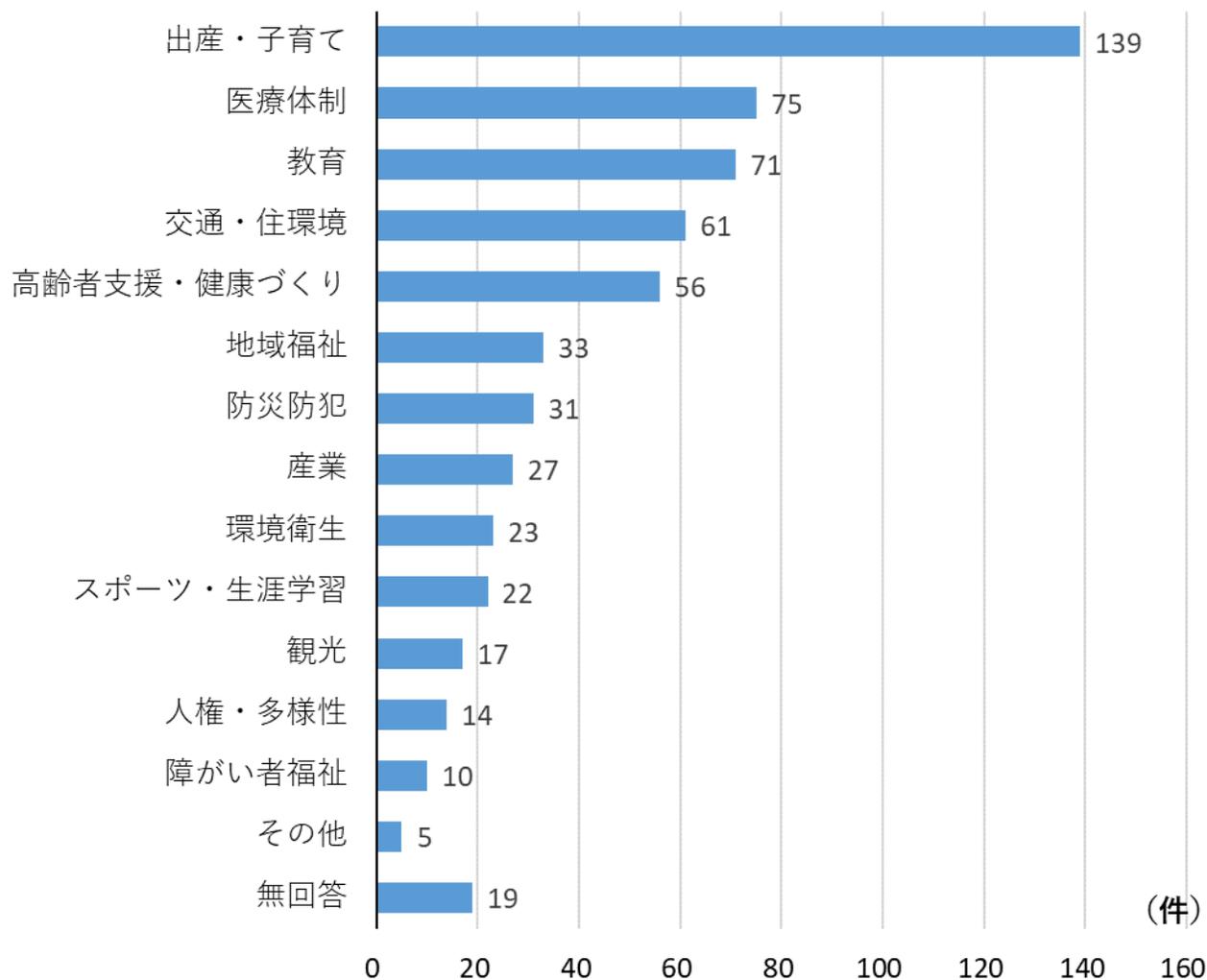
Q5 こうしたまちになるために、特に効果的だと思う取組はどれだと思いますか。(3つ選択)

n=322



Q6 20年後を想像した時、町田市が魅力的なまちであり続けるために、特に重要だと思う分野を教えてください。(該当するもの2つまで○)

n=322

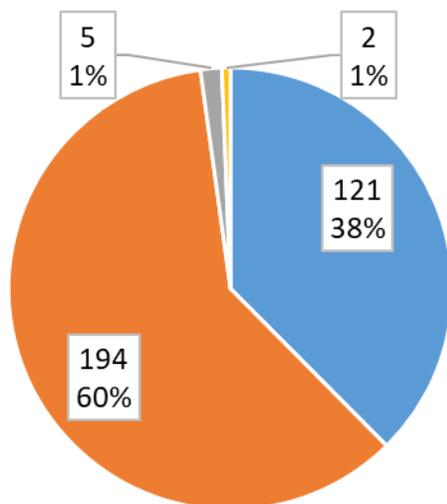


※Q7、Q8の自由回答は別紙8-2を参照。

Q9 最後に、あなた自身のことについてお伺いします。(該当するものに1つに○)

(1)性別

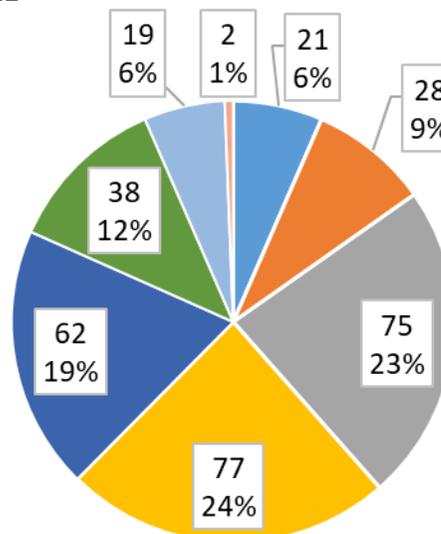
n=322



- 男性
- 女性
- 選択せず
- 無回答

(2)ご年齢

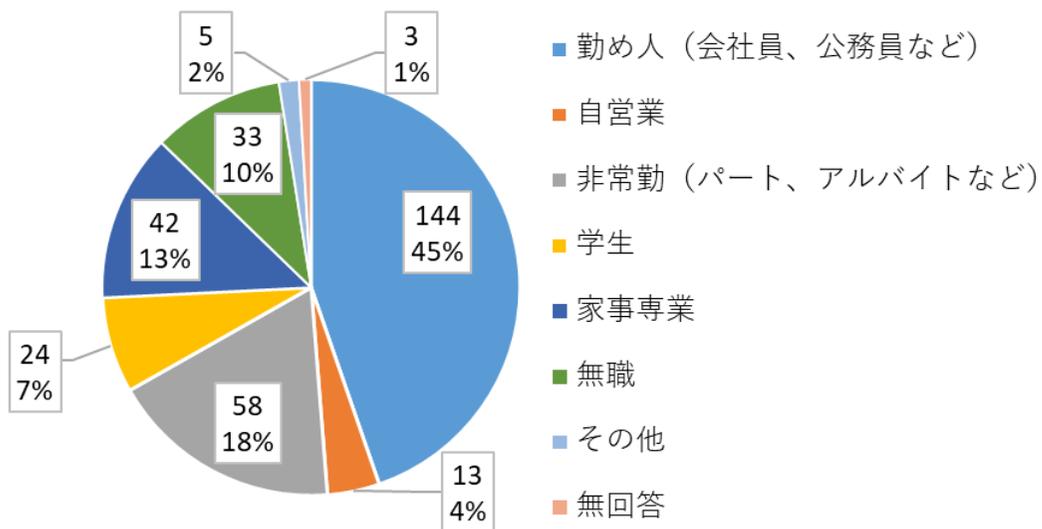
n=322



- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上
- 無回答

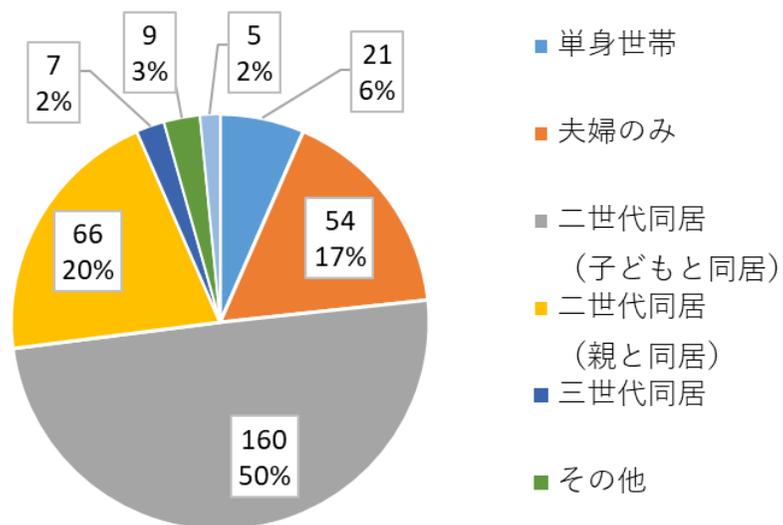
(3) ご職業

n=322

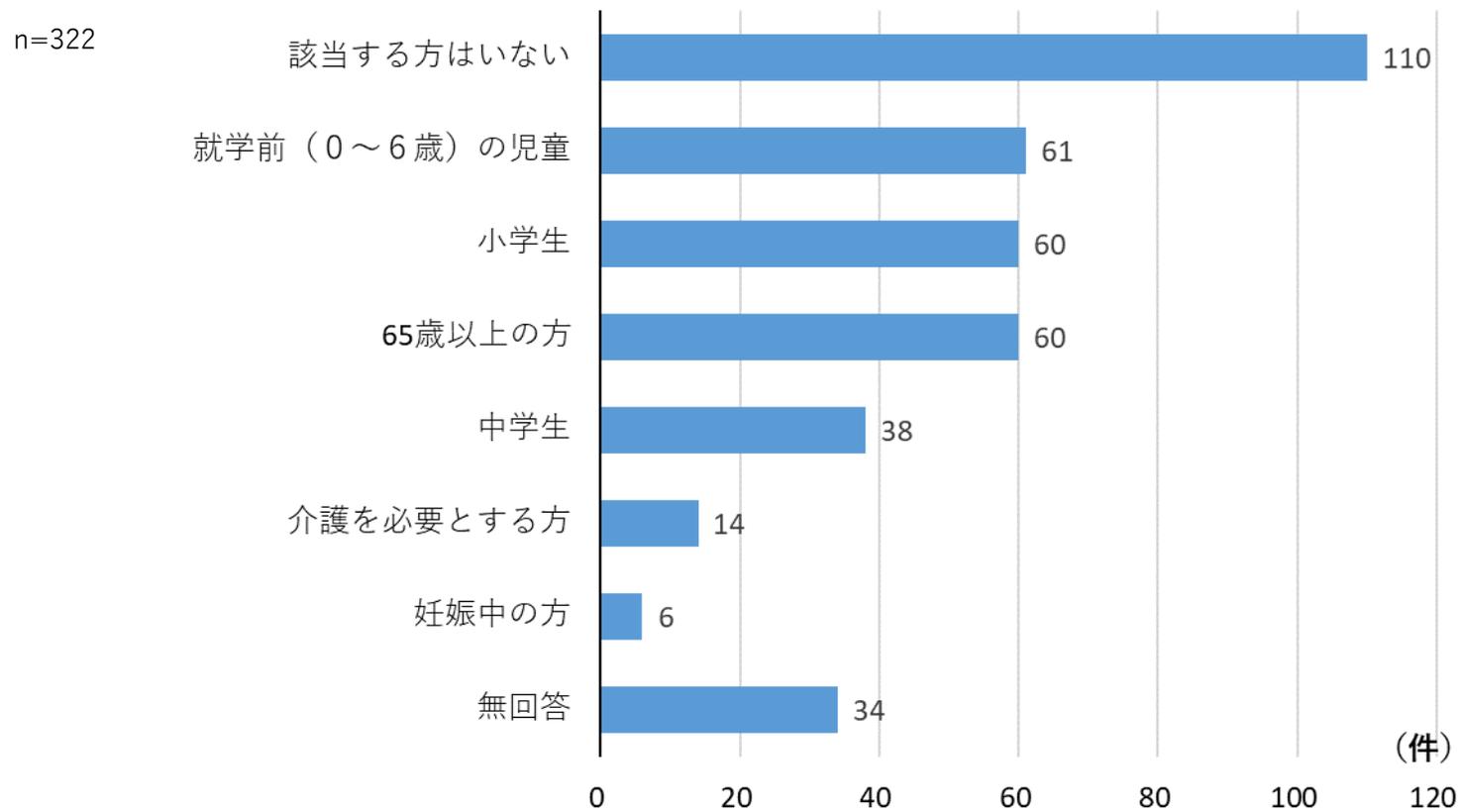


(4) 世帯構成

n=322



(5)同居するご家族



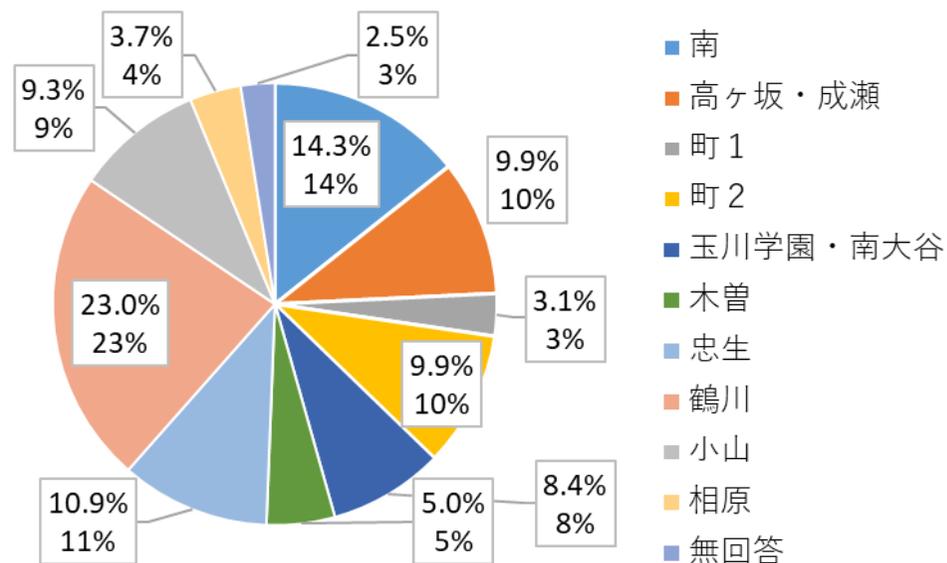
(6)お住まい

地区番号	地区	件数	割合
1	南	46	14.3%
2	高ヶ坂・成瀬	32	9.9%
3	町1	10	3.1%
4	町2	32	9.9%
5	玉川学園・南大谷	27	8.4%
6	木曽	16	5.0%
7	忠生	35	10.9%
8	鶴川	74	23.0%
9	小山	30	9.3%
10	相原	12	3.7%
0	無回答	8	2.5%
	合計	322	100%

順位表示

順位	地区	件数	割合
1	鶴川	74	23.0%
2	南	46	14.3%
3	忠生	35	10.9%
4	高ヶ坂・成瀬	32	9.9%
5	町2	32	9.9%
6	小山	30	9.3%
7	玉川学園・南大谷	27	8.4%
8	木曽	16	5.0%
9	相原	12	3.7%
10	町1	10	3.1%
0	無回答	8	2.5%
	合計	322	100%

n=322



No. Q6の分類	2040年にはどのようなまちになってほしいですか (Q7サマリ)	現状で不足していると思われる取組を教えてください (Q8サマリ)	別紙8-2
1 出産・子育て	<p>■出産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由や保育環境などに不安を持たず、躊躇なく出産を決められるまち ・不妊治療へのサポートが充実したまち <p>■子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への支援や補助が充実しており、子育て世代にとって魅力的な施策が用意されているまち ・子どもが多様な教育や文化、スポーツ活動への参加の機会があるまち ・待機児童がないまち ・共働き世帯でも子育てしやすいまち ・子育てに必要な施設の整備、行政と地域の支援が充実したまち ・子育てについて相談しやすい環境があるまち ・経済格差で教育格差が出ないようなまち ・小中学生の医療費無料のまち ・ママ友が作りやすい環境のあるまち <p>■地域環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えてお互いに助け合えるようなまち ・治安が良く、自然が多く、子育てしたいと思えるまち ・歩道が広く、ベビーカーでも歩きやすいまち ・デパート内などにも子供の遊び場があるまち ・泣き声、騒音などの苦情を気にせず安心して子供がのびのび育つことができるまち ・親と子供が安心して過ごすことができる自然豊かな公園や広場などが充実したまち ・誰もがホッとできる居場所を地域の中に見つけられるまち ・20年後に町田を支えることとなる子どもが住みやすいまち 	<p>■出産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産費用の補助（不妊治療も含む）などの子育てに対する支援を充実させ、子供をたくさん育てやすい環境を作る ・妊娠してるときから、先輩ママやママ友と繋がるプロジェクトを作る ・産婦人科をふやす <p>■子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てと仕事の両立を図るための施策の実行し、十分に周知する ・若い人たちが孤立しないような交流の場や気軽に相談できる場を設ける ・健康診断などで子供の発達状況を知る機会を作る ・幼い子供のいる家庭へ支援の情報を届ける ・乳幼児向けの施設を備えた公園の充実（自然環境重視） ・小学生の子が安全に、おもいきり遊べる遊具（アスレチックや大型遊具）やボールで遊べる場所をふやす ・町田市内に小児科医を増やす ・町田駅周辺をベビーカーで移動しやすくする ・時間に余裕がある人と、手助けを必要としている人をつなぐ <p>■保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士や介護士への待遇を改善し、十分な人手の確保をする ・全地域で保育施設や学童保育を充実させ、待機児童をゼロにする ・病児保育や、急な子供の預け先を確保する 	
2 教育	<p>■教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育をしっかりと実施するまち ・詐欺やお金の使い方等、通常の勉強以外の教育も充実しているまち ・自らの「好き」・個性を尊重し、伸ばすことができる多様で柔軟な教育ができるまち ・地域の事や世界の事（差別、人権、多様性など）について学べる教育環境があるまち ・未来のイノベーターを創出できるような教育を支援し、より付加価値の高い事業を創出できるまち ・勉強だけでなく様々な人とのふれあい、一人一人が自分の人生を考えられるまち ・各学級に補助教諭のいるなど、少人数での細やかな指導で個人の能力を高める教育があるまち ・幼稚園と保育園の区分けがなく、小学校入学前から教育の場があるまち ・子供の進路と自立を全力で支援できる仕組みのあるまち ・教育の機会やレベルの格差が少ないまち ・小学校に専門教科（音楽、図工、体育、家庭科など）の先生がいるまち ・海外でも通用できるよう英語やIT教育に力が入っているまち ・オンライン授業の環境が整っており、先生との円滑なコミュニケーションが頻繁に取れるまち ・学力と体力向上に力を入れているまち <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に十分な予算を配分し、子育てや教育に自信の持てるまち ・中学校も給食があるまち ・学びたいものが近くにあるまち ・皆が安心して落ち着いて教育を受けられるまち ・図書館が子どもにとって身近なまち ・学校でのいじめがないまち ・地元愛を持てるまち 	<p>■教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立の学校でもオンライン授業を進めるためのインターネット環境をつくるなど、IT教育環境の充実を図る ・質の高い教育者の不足を解消する ・教員の負担を軽減するために、学校に常駐できる人を多く確保する、教諭を目指す学生等の活用の充実を図る（ボランティアとして） ・幅広い職業を調べたり、教えてもらう機会をつくるなどのキャリア教育を推進する ・英語教育に引き続き力を入れる ・それぞれの学校の特色を活かした指導をする ・自ら考えて行動・発言できるような教育を推進する ・学生のうちから地域課題の解決に向けた取組に参加する機会を増やす ・中学生が学校で体力、学力をつけるしくみをつくる <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、特に市立大学を創立する ・自習室等の学ぶ場所をつくる ・放課後の居場所作り、長期休み中の学習機会（サマースクール等）などを創出する ・共働き世帯の子のための学校外の教育補助施設を充実させる ・子供や親子が歩いていける場所にもっと多くの図書館をつくる ・子どもが安全に登校できるよう登校班を実施する、歩道を広げる ・青少年育成に力を入れて、子どもによる犯罪等を防止する ・中学校給食の整備する 	

No. Q6の分類	2040年にはどのようなまちになってほしいですか (Q7サマリ)	現状で不足していると思われる取組を教えてください (Q8サマリ)
3 産業	<p>■産業発展・誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を進め、雇用が多いまち ・新事業や起業への支援があるまち ・産業の発展、経済の安定化に力をいれるまち ・有名な産業のあるまち ・地産地消のシステムが充実しているまち ・農業を通して活気のあるまち <p>■娯楽産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南町田グランベリーのような集客力のある施設があるまち <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きたい人が働けるまち・住んで働けるまち 	<p>■産業発展・誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な企業誘致を実施する ・優良な産業、町の発展を支えるような産業をふやす ・町田市としてどんな産業を発展させていきたいのか、具体的でないため、明確にする ・起業支援、助成金、優遇税制を充実させる <p>■娯楽産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心地に娯楽施設をふやす（赤ちゃんや小さな子が楽しめる場） <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく働ける環境を作る ・高齢者の雇用拡大、若年者雇用に対する補助拡大などを行う ・町田市内で働いている人へのメリットをつくる
4 観光	<p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺以外にも大型で年齢問わず楽しめるような商業施設や観光スポットがあるまち ・観光スポットが充実しているまち ・他のまちにない魅力のあるまち ・多くの人が訪れる個性的なテナントや個人商店が立ち並ぶ活気のあるまち 	<p>■観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力あふれる町田の食べ物やお店、自然、文化施設（とくに国際版画美術館）をアピールする ・観光スポットとしての知名度を上げる ・SNSの発信に力を入れる ・大きなレジャー施設や、観光名所などを整備する ・他と異なる、世界に誇れるものをつくり、観光資源がない点を大きく転換する ・外国人に対してアピールを行う ・個人商店への支援を行う
5 スポーツ・生涯学習	<p>■サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田のサッカーチームと市民の結びつきが強いまち ・地域のサッカー、フットサルが充実しているまち ・大きなサッカースタジアムがあるまち <p>■スポーツ環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人でも気軽に参加できるスポーツや生涯教育の充実したまち ・お金をかけなくても子供たちが学習やスポーツに取り組めるまち ・歩いて楽しめるまち <p>■生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学や生涯教育に力を入れるまち ・生涯を通して必要なサポートが届けられるまち ・健康増進、体力向上を熱心に行うまち ・人々が積極的に行動しているまち 	<p>■サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼルビアのホームスタジアムまでのアクセスが不便なので改善する ・地域のチームを活用しPR活動を行う <p>■スポーツ環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女が参加できる体力作りの機会や、学べる場所をつくる ・フットパスなどをもっと充実させる ・市民のための総合体育館を年中無休にする <p>■生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢にかかわらず活躍できる場をつくる ・生涯教育の場の提供をする
6 高齢者支援・健康づくり	<p>■地域とのつながり・活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の充実したまち ・地域で見守ることができるまち ・世代や性別関係なく皆が気持ちよく暮らせるまち ・孤独を感じさせないまち ・ボランティアが盛んなまち ・高齢者も活躍できるまち ・生活に楽しみを持てるまち <p>■住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が安心して外に出かけられるなど、安心して住めるまち ・高齢者でも外出しやすい交通機関の充実したまち <p>■健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスが充実したまち ・健康づくりのためのサークルがあるなど、高齢になっても元気で生きがいのあるまち ・近くに運動できる器具や遊具があるまち 	<p>■地域とのつながり・活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいきいきと暮らせるための取り組みを推進する ・高齢者へ技術習得の支援をし、就労支援及び地域社会への参加・貢献ができる体制をつくる ・高齢者の経験を生かして、伝える場所をつくる ・高齢者、女性の雇用機会を増やす ・介護資格者の育成と介護従事者への手厚い支援を行う ・老健施設、相談場所、公共の運動施設などのコミュニティとなるような場所をふやす ・高齢者を抱える家族だけが悩むことのないように、地域で支える、支援する施設や仕組みをつくる ・元気高齢者だけでなく、様々な人が交流できる場、環境をつくる ・高齢者の生活をサポートする人材への支援体制を強化する ・独居老人を周囲で支えるような取り組みをする ・イベントやコミュニティなどの周知を分かりやすく積極的に行う <p>■住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安い高齢施設の受け入れを増やす <p>■健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別に医療体制を整備する ・高齢者の健康維持のためのスポーツ・カルチャーイベントなどの機会をつくる <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躊躇なく免許を返納できるように公共の交通網を発達させる ・必要なサポートを受けるのに、どこに相談すればいいか、実際何ができるのかを分かりやすく伝える

No.	Q6の分類	2040年にはどのようなまちになってほしいですか (Q7サマリ)	現状で不足していると思われる取組を教えてください (Q8サマリ)
7	地域福祉	<p>■コミュニティ・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元に興味を持てるまち ・多世代にわたって交流や助け合いのあるまち ・地域で顔が見え、孤立しないシステムがあるまち ・挨拶や助け合いができるまち ・市民センターなどでのイベントが充実しているまち <p>■福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生制度が充実したまち ・高齢者の介護をする地域の人員が確保できているまち ・バリアフリーや地域コミュニティの充実したまち ・安心して高齢者が入居できる施設が見つかりやすいまち <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者への理解、協力、支援システムが整ったまち ・ひきこもりなど、精神的な問題を抱えた人に対する救済があるまち ・マイナンバーの有効活用ができるまち 	<p>■コミュニティ・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各世代のつながりを強める ・市民協働に興味ある人を振り起こす ・気軽に参加できる催し物を各地で行う ・子育て世代、高齢者に片寄らず働き世代が前向きになれる環境をつくる <p>■福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て、教育、就労、介護等々、気軽に相談できる場所、窓口や仲間を作る ・介護や福祉に勤める人への負担を軽減する ・すぐに入れる施設をつくる、介護者不足を解消する ・補助を受けるようにも手続きが非常にわかりやすく、期限や制限も多いので簡単にする <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方への理解の教育システムをつくる
8	環境衛生	<p>■街中の環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気のきれいなまち ・ゴミが少なく清潔なまち ・タバコのルールが守られているまち ・ゼロウェイストを目標とするまち ・リサイクルがしっかりされているまち ・環境衛生が整ったまち <p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで華やかなまち ・自然保護を推進するまち ・里山や自然との共存ができるまち 	<p>■街中の環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺や駅構内のポイ捨てが多いので、清掃をする ・喫煙所をつくる ・町田のリサイクル率をもっと上げる ・市民一人一人が当事者意識をもって、自分たちのまちを守る ・騒音、ガスと大気汚染をなくすことに注力する団体を作る ・ゴミ袋が有料なので、無料もしくは安くする <p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに自然を残し、衛生的な街づくりをおこなう
9	人権・多様性	<p>■人権・多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人々が共生するまち ・海外からの観光客や、留学生が過ごしやすいまち ・同性愛カップルも普通の夫婦のように生活できるまち ・いじめがないまち ・誰もが住みやすいまち・多様性の大切さを考えられるまち ・偏見のない穏やかなまち 	<p>■人権・多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同性カップルを支援する ・多様性を認める市民の価値観を育てる ・英語の表記を増やす、英語教育を充実させる ・いじめの摘発体制の強化と周囲の見守りを推進する
10	障がい者福祉	<p>■障がい者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者への差別がないまち ・障がい者のニーズに合わせた施設が十分にあるまち ・障がい者への理解と協力体制の整ったまち ・障がい者が安心して暮らせるまち 	<p>■障がい者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受けられる制度の幅を広げる ・障がい者への理解を進める ・障がい者だけでなくすべての方にやさしいバリアフリーを確立する ・都立高校に特別支援学級を設置する

No. Q6の分類	2040年にはどのようなまちになってほしいですか (Q7サマリ)	現状で不足していると思われる取組を教えてください (Q8サマリ)
11 交通・住環境	<p>■交通の利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車がなくても困らないまち ・市内のどこへでも電車で行くことのできるまち ・市中心部から郊外に向かう交通の充実したまち ・高速道路までのアクセスが良いまち ・地域によって交通機関の偏りがないまち ・バスがもっと多く安く、乗りやすいまち <p>■道路環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い歩道、広い道路があるまち ・歩行者と自転車の道が分かれているまち ・駅や周辺道路の整備がしっかりされているまち ・渋滞や交通事故がないまち <p>■住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア新幹線駅周辺地区にふさわしい、賑わいのまち ・公園や自然の豊かなまち ・自然が豊かで景観が美しいまち 	<p>■交通の利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地にバス停やバスの本数をふやし、便利にする ・地下鉄等の建設をする ・町田中心部以外の交通利便性を向上させる ・町田市内に高速道路の乗り口をつくる ・公共交通機関がほぼバス一択になっているため、モノレールなどの交通網を充実する ・車に代わる公共交通機関の充実等のコンパクトシティ化を図る <p>■道路環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭隘な道路が多い地域や、かなり古い団地がは防災にもマイナスで魅力にも欠けるので、立て替えなどのインセンティブになる政策をつくる ・何年も工事をしている道があるので早く工事を終わらせる ・相原駅の踏切を立体化する ・交通量の多い場所を中心に道を広げるなどの対策とる <p>■住環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の活性化 ・駅付近の緑を増やす ・市営住宅などの情報を積極的に知らせる ・町田駅中心の活性化だけでなく、他地区の賑わいと活性化を目指す ・住宅街に外灯がなく暗い道があるので街灯を設置する ・空き家の有効活用や市民農園の拡充をおこなう ・気軽に散歩できるような広い公園をつくる ・町田駅近くで子供をあそばせられる場所を作る
12 防災防犯	<p>■防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策が行き届いており、大災害がおきても安心できるまち ・どんな災害、犯罪等にも対処できる役所と市民が一体となった安全なまち <p>■防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策のしっかりした犯罪のない治安の良いまち ・子どもやお年寄りが夜遅くまで出歩けるまち 	<p>■防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災センターをつくる ・有事の際の素早い人員確保が難しいのでリタイアした市の職員、消防官、警察官などの一時的な登用、ボランティアの有効活用等人員確保に取り組む ・若い世代の防犯防災への参入を推進する ・災害防止のため、境川の改修を行う <p>■防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ、ライトの増設、防犯カメラがある事をアピールをする ・子どもが通っている保育園には門に鍵を施錠をするなど、子どもの安全を確保する ・警察のパトロールをもう少し頻繁に行う ・オレオレ詐欺に対する取り組みを強化する ・警察消防との連携、消防団強化をはかる ・夜の公園に集まって騒いでいる若者への取り締まりを強化する
13 医療体制	<p>■病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急などのたらいまわしが少ないまち ・市内の病院で安心して治療を受けられるまち ・十分な数の総合病院や救急病院があり、相互に連携がとられているまち ・特殊分野の専門ドクターがいるまち ・休日や深夜でも安心してかかれる病院があるまち ・どこの地域にも検査ができる施設があるなど、検査施設が充実しているまち ・高度な医療のあるまち ・医療機関の待ち時間対策としてアプリなどで予約のできるまち ・公共交通機関で行きやすい場所に病院があるまち <p>■支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問医療の充実したまち ・安心して生活できる医療体制のあるまち ・具合が悪い時にいつでも相談できるなど、必要な医療を受けるためのサポートが充実したまち ・医療費が安いまち (中学校卒業まで医療費が無料など) ・健康でいるための情報提供をしてくれるまち <p>■コロナ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療崩壊が起きないための対策が取られているまち ・伝染病の対応が行き届いたまち <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療面で神奈川との連携が取れているまち ・治療よりも予防に力を入れたまち ・他の地域と差別化された医療体制のあるまち 	<p>■病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこの病院に行っても検診結果やお薬の情報がわかるようにする ・救急病院の医療スタッフ、病床の数を増やす ・どんな人でも安心して病院に行ける体制をつくる ・不健康な人が多いので健診を受けれるように支援をする ・医療費が高いので安くする ・大学病院など大きな総合病院が少ないので誘致する ・安心して入院できる公立の病院を増やす ・市民病院も古くなってきているので、整備するお金を確保する <p>■支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての高齢者に必要な支援を届ける ・町田市内のどの病院でどの様な専門の医療 (診療科) が受けられるのかの市民への周知徹底 (インターネットだけでなくマップなどの紙ベースの配布など) をする <p>■コロナ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査体制が不十分なので整える ・ウイルス対策病棟をつくる <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川と東京の病院の連携を強化する ・病院への直通交通手段をつくる
14 その他	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの分野でも良いが、町田市民であることが誇れるようなものがあるまち ・マイナンバーなどを有効活用できるまち 	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについて、誰でも気軽に参加できるディスカッションの場をつくる ・現状の情報をわかりやすく市民に伝える ・マイナンバーを有効活用し、市役所の方が積極的に受けられる補助を勧める体制をつくる ・資金の確保をする ・スポット支援ではなく、全体を見据えた支援であるために、それができる応用力のある情報共有システムの構築と各支援の連携を実施する